～宮大生のための海外渡航～

台湾夏期英語／華語・台湾文化研修報告

工学部　環境応用化学科　2年　丸山一聖

〇派遣：開南大学

〇派遣期間：　　2016年　　8月　　15日　　～　　2016年　　8月　　30日

〇渡航時の学年：　　**2**年次

〇渡日前の手続について

・参加に至った経緯について：

なぜ、このプログラムに参加したかというと今年の3月にフィリピンでの英語・文化研修に参加し、そのあとまた長期留学は厳しい面もあるので短期留学で英語を勉強したいという思いが強く、寮費・授業料免除で、台湾は行ってみたい国の一つでもあったのでこのプログラムに参加しました。

・渡航に関する手続について：

航空券の手配と海外旅行保険加入の手続きがありました。

・査証取得：

なし

★体験記：

派遣先の情報としてまず、渡航費用については航空券 35,000 円(往復)と海外旅行保険 13,560 円(17日間)の計 48,560 円で今回は寮費と授業料が免除されていることを考えると安いのではないかと思います。次に生活費については所定の食事以外の食費が少しかかり、生活用品は少し不足していたものをショッピングモールで購入した程度で物価も安く、日本から多くは持ってきていたのでそこまでかからなかったという感じでした。寮・大学の環境について寮はセキュリティーもしっかりしていて、くつろげる談話室があり、ウォーターサーバーと共用の冷蔵庫もあり、Wi-Fi 環境も整っていたので非常に快適でした。部屋の中はベッドも机も広く、クーラーも効いてて快適だったのですが、ベッドは寝袋だけでは板張りで寝にくかったのでマットのようなものをショッピングモールで買いました。クーラーは設定温度が少し低めで長い時間つけていたので乾燥していたこともあり喉を少し痛めてしまいました。大学そのものについては宮崎大学より広く正直、最初のうちは迷子になりそうでしたが、図書館なども大きく設備もしっかりしているという感じでした。授業内容については基本グループ学習が多くグループでワークを行ったり、与えられた問いについて色々議論したり、たまに英語を使ったゲームをしたり、授業の成果発表としてプレゼンテーションを行いました。色々と英語を使って発表する場面が多かったので内容的には非常に良かったと思います。
今回、参加者はほとんどが日本人で5名現在日本に留学している留学生が来ていて普段はほとんど関わりのない学部の方だったり、少し違うバックグラウンドの方と話す機会が多く自分自身すごく刺激を受けたり、改めて学んだことが数多くありました。中国の方ともたまに英語で話をしていたのですが、中国語や中国のことについて少し教えてもらったり非常に楽しかったです。
最後にこの2週間で学んだこととして、勉強面で今回は英語コースの方で参加して以前に比べるとかなり英語で話すことに関して積極的な姿勢になり、失敗を恐れなくなり簡単な英語ならほぼミスなく話せるようになりましたが、どうしてもまだ語彙力で足りない部分があったり、文法的なミスがたまにあったり、そして授業の時に顕著に感じたことでリスニングがまだまだスキルとして足りていないということを痛感しました。しかし、この2週間で以前に比べると英語での発表能力がかなり伸びたように思えます。そして、これは自分自身意外だったのですが中国語の勉強経験ほぼゼロで今回台湾に行き、やはり必要最低限の言葉は知っておくべきだと思いチューターさんや中国人

の留学生に少し中国語を教えてもらい、教えてもらった言葉をたまに街に行った時などに使い、日本語と英語以外の言語で初めて意味が通じたことがよほど嬉しかったのか今回の研修をきっかけに中国語にも興味が湧いてきて今後勉強してみようと思います。
その他の面については、今回台湾の歴史について触れる機会もあり、昔日本が植民地として統治していた背景を考えると少し複雑な気持ちになりましたが、それを感じさせないくらいに台湾の人たちは心温かい人が多かったというのが印象的でした。文化についても台湾の人たちは朝ごはんを家で作らず、外で食べることが多いという文化があったり、夜市という台湾独自のナイトマーケットがあったり、あとは親日国であるということも凄く肌身に感じて文化的に違う部分・同じ部分を比較できたことは非常に面白かったです。そして、今回現地でたくさん友人を作ることができ、今年の宮大のサマープログラムで仲良くなった台湾人の友人にも久しぶりに会うことができ改めて友人がいることの大切さも学びました。

〇生活費:
渡航費が航空券 35,000 円(往復)と海外旅行保険 13,560 円（17 日間）の計４８，５６０円で、寮費は免除されていたのでかかっていません。あと所定の食事以外の食費・移動費・お土産代は日本円で 55,000 円（約 17,700 台湾元）使いました。

〇大学のサポート状況:
スタッフさんやチューターさんを含めて日本語、英語が通じる人がほとんどだったので、コミュニケーション面で困るということはありませんでしたし、特にチューターさんには現地の人と話すときだったり、買い物のときだったり、色んな場所に連れて行ってくれたりと本当にお世話になりました。

〇授業の様子:
授業については基本グループ学習でグループ単位でワークを行ったり、与えられた問いについて色々議論したり、たまに英語を使ったゲームをしたり、授業の成果発表としてプレゼンテーションを行いました。色々発表する機会が多かったので内容的には非常に良かったと思います。困った時はチューターさんがサポートしてくれたので助かりました。

〇他の留学生たちの様子:
現在、日本の大学に留学している留学生なのですが、ベルギーとインドネシアの方が 1 人ずつで中国の方々が３人でした。中国の方々とは英語で話す機会が多かったですが、残りの 2 人は日本語がかなり話せる方々だったので日本語でよく話していました。

〇現地学生との交流:
基本チューターさんと行動することが多かったので、交流する機会は多く自由行動の日は主に台北方面の観光名所に色々連れていってくれたり、一緒に買い物に行ったり、夜は夜市に行ったり、団体行動の日も行った先で色んな場所に連れていってくれたり、ときには時間があるときに中国語を少し教えてもらったりとほんとに充実していて、とても楽しく交流することができました。
何よりコミュニケーションの部分で日本語が通じたということがかなり大きかったと思います。

〇街の様子:
桃園駅の方まで行けば、デパートがあったり、スーパーがあったり多種多様にお店があったので便利が良かったですが、大学周辺はコンビニや飲食店が多く、買い物場所が少なかったので 2 日目に桃園の中心部にあるショッピングモールにみんなで買い出しに行きました。そして、交通手段は桃園ではタクシーかバスで台北方面は電車でした。街の様子は特に治安が悪いというところは見受けられず、道路も綺麗で日本とあまり変わらないという感じでした。

〇その他:
たまに物乞いをしている人たちを見かけたのでその人たちには気をつけたほうがいいです。

狭い道にもよくバイクが入ってくるので気をつけたほうが良いと思います。

○今後、海外渡航を希望する宮大生のみなさんへ

行く前に必要最低限の中国語を覚えておくと少しは役に立つと思います。
どこに行っても結構冷房が効いているので薄い長袖などを持っていくと良いと思います。
大学周辺はコンビニが多くて生活用品が買える場所が少ないので日本から持っていけるものは持っていったほうが良いと思います。
洗濯機で洗濯する際に使うネットを持っていったほうが良いと思います。